

福祉 **ねごう**

根郷地区社会福祉協議会

佐倉市大篠塚1587
 南部地域福祉センター内
 電話・FAX 483-7288
 Mail: negou_syakyou@yahoo.co.jp
 https://negousyakyou.sakura.ne.jp

根郷地区:人口25,221人(+60) 世帯数12,408(+115) ※()内は前号比;増減数 令和6年10月末 現在

いっしょに集い はばたけ根郷

根郷福祉まつり開催



令和6年10月6日(日) 南部地域福祉センターにて根郷福祉まつりが行われました。
 オープニングセレモニーでのめいわ太鼓の演奏と子ども山車で雰囲気が一気に盛り上がりました。中庭では、今年から復活した人気の焼きそば、焼き鳥、フランクフルト、花の苗、野菜の販売があり、室内ではスタンプラリーや米すくい、遊びの広場のアートバルーン、

的あて、松ぼっくりツリー作り、ダーツ。A棟ではお茶席、アイマスク。A棟裏庭ではゲートボール体験がありました。最後には抽選会が行われ、根郷福祉まつりは大盛況のうちに幕を閉じました。
 来場者数は過去最高の733名で、地域の皆さんと楽しい一日を過ごすことができました。また来年もお越しください。

住みよい福祉のまちを あなたとわたしでつくりましょう

活動紹介

令和6年度第1回根郷フットサル教室【児童福祉事業部主催】

7月13日佐倉市山王公園にてFC根郷石毛監督の協力を得て、元Jリーガーの中島崇明氏の指導の下、今年度第1回の根郷フットサル教室が開催されました。

根郷、寺崎、山王の小学1,2年生14名が、暑さにも負けず、公園の中をボールを蹴りながら走り抜けました。

フットサルが初めての子どもたちも安心できるよう、最初は基礎的なパスから教えてもらい

最後はミニ試合ができるまでになりました。

たくさん汗をかき、おみやげにお菓子をいただき、楽しい半日を過ごしました。



アイマスク体験【障がい者福祉事業部】



福祉まつりにてアイマスク体験を行いました。

家族で参加されたお父さんは「普段見えているものが見えないのは難しかった。祖父が病気で全盲になり、その体験を初めてすることができました」とのお話を聞くことができました。

市川市宮久保・下貝塚地区社会福祉協議会来訪

10月22日（火）これから支えあいサービス事業を始める、28人の市川市宮久保・下貝塚地区社協の皆様方が、根郷地区社会福祉協議会を訪れました。

根郷地区社協は現在のちょこっとサービスを含めた支え合いサービスの活動について説明をし、その後活発な質疑応答がなされました。



住みよい福祉のまちを あなたとわたしでつくりましょう

「ちょこっとサービス」サポーター交流会

10月27日に南部地域福祉センターで開催

参加サポーター9名に加え、南部包括、市社協、地区社協の参加もあり17名の交流会でした。

最初に令和5年度の「ちょこっとサービス」の実績報告がありました。

登録利用者184名、利用者83名（利用率45%）
利用件数1,433件

利用サービスの作業内容割合は、

ゴミ出し（39%） 買い物代行（15%）

庭掃除（14%） 草取り（9%）

となっていました。

次に、「ちば市民活動・市民事業サポートクラブ（NPOクラブ）」代表理事の牧野昌子さんから『ボランティア活動のこれからの姿』のテーマで講演していただきました。

高齢化に加えて、人口減と小家族化

高齢化に伴って人口が減り、さらには小家族化が進んでいます。世帯数の伸びは鈍化傾向で、単身世帯、高齢者単身世帯やひとり親世帯は増加する傾向がみられます。ボランティアを支える30代、40代女性の就業率が大きく伸びており、活動に関わりにくい状況です。また、自治体職員数が減少し、ライフスタイル、社会環境が大きく変化している現状に行政が対応できなくなっています。地域課題が多様化する一方、行政の財政基盤は弱体化。様々な人や組織による地域活動が求められています。

ボランティア活動の社会的認知

振り返ると、今のボランティア活動は、誰かの「ほっとけない、から始まっています。その活動が社会的に認知され、行政の政策課題となり社会全体の課題になっています。暮らしやすく住み続けることができる地域を住民（市民）自らの手で実現するためには、「地域資源」と「地域課題」を踏まえ、『社会的意義とやりがいのある活動』がポイントになります。

ボランティア活動や地域づくり活動は、心身の健康に繋がります。誰かの役に立ち感謝されることや、仲間との関り。これらが自身の達成感や自己実現に繋がります。内閣府のアンケート調査では「社会の役に立ちたい人」の割合は、53%（1987年）から64%（2021年）と増加しています。

ボランティア活動のための5つの資源

活動を運営、継続させるための活動資源は、

「人/仲間」：仲間がいれば広がる、目的を共有、想いを持つ人

「モノ/こと」：有形無形のもの、機材や設備、活動メンバーのスキルやノウハウ

「資金」：活動のための収入確保、会費、寄付、助成金、事業収入など

「場所」：活動のための場所、公共施設、貸しスペース、公園など

「情報」：情報収集と情報発信、ウェブ、SNS、チラシなど

ボランティア活動はプライスレス活動なので、参加者募集の表現は一般的な広告表現とは異なります。具体的には、「あなたに参加して欲しい」「活動を具体的に伝える」「自分のこと（体験）を語る」。そして参加して欲しい人に届けられる媒体を選ぶことが重要です。

活動の運営も、目標設定、調査力、計画性、協働できる体制づくり、自主財源の確保など、チカラを付ける努力も必要です。

地区社協の機能と目的は、①理解を拡げ、②困りごとを見つけ、③話し合い、④活動を通して解決する。協働や連携にどのように広げられるかが大切です。

ボランティア活動は「新しい価値をつくりだす活動」です。さらには、GDPにはカウントされない経済活動です。この活動が地域を豊かにしていると言えます。

地域づくり活動に参画している私たちは、活動の意義を伝え、理解、協力する市民を増やすことが大切な活動になります。

※講演資料はちょこっとサービスにあります



住みよい福祉のまちを あなたとわたしでつくりましょう

渋沢栄一と社会福祉協議会



令和6年7月から新一万円札の顔となった渋沢栄一は、1987（明治41）年に誕生した全国社会福祉協議会の初代会長であり、慈善事業の推進、寄付文化の振興に大きな功績を残しました。

約500社の企業等の設立・経営に関わったとされる渋沢栄一ですが、同時に約600の慈善事業や教育・研究機関などの設立・運営に、終身にわたり力を注ぎました。

それぞれの慈善事業が自立をささえる活動となるためには、慈善団体・慈善事業相互の連携を図ることが重要とし、その精神は、社協組織等の全国的なネットワークとして引き継がれています。

また、社会福祉の事業経営や災害時支援、寄付文化の振興などに関与し、現代に続く社会福祉の基本的な体系づくりに尽力しました。

高齢の方に感謝を込めて

11月2日(土)に福祉委員が集まり、88歳以上の方にお祝いの品の発送準備をしました。

毎年楽しみにしているとの声をいただいています。

皆さんどうぞ健康で長生きされますように。



子育てサロン

場所：南部地域福祉センターB棟

日時：毎月第三木曜日

(4月8月は除く)

午前10時(受付)

10時30分～11時30分迄



就園前の親子で一緒に楽しい時を過ごしましょう



広告大募集

「福祉ねごう」では、協賛広告を募集しています

年三回発行5,000円

新床・表替・裏返

石田畳店

佐倉市城768
TEL:485-4007

小さな思い出を大切に作る店
金婚式・喜寿・米寿を残しましょう

皆様の写真スタジオ

ショウジ

佐倉市表町1-5-19
043-485-5323

あいはら表具店

新規
張替
内装

クロス・カーテン工事
内装一般

佐倉市畔田 316-3
三代目 粟飯原正直
TEL.487-0049 FAX.487-0586



小篠塚城内
雲上の

墓地販売中

共同墓お手頃価格一柱 60,000円より
ご案内しております(当山は宗旨不問です)

〒285-0605
しょうけいじ
正慧寺

佐倉市小篠塚 598-1
TEL 043-498-1411
FAX 043-308-7690

住みよい福祉のまちをあなたとわたしでつくりましょう